
令和8年度全国学力・学習状況調査の 結果分析について

－野洲市の子どもたちの学力・生活実態－



野洲市教育委員会学務課 野洲市教育研究所

「令和8年度全国学力・学習状況調査の結果（概要）」
令和8年8月文部科学省・国立教育政策研究所
「令和8年度全国学力・学習状況調査の結果 課題の改善に向けた取組の重点」
令和8年8月10日滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課
を参考に作成しています。

目次

1	<u>令和8年度全国学力・学習状況調査の概要</u>	p.2
2	<u>教科に関する調査結果の概要</u>	p.3
3	<u>教科に関する調査結果　－小学校－</u> （1）国語　（2）算数	p.4
4	<u>教科に関する調査結果　－中学校－</u> （1）国語　（2）数学　（3）英語	p.8
5	<u>質問調査の結果　－小学校・中学校－</u> （1）非認知能力に関する項目 （2）授業に関する項目 （3）生活習慣に関する質問	集計方法と無回答がある関係で、 合計が100%にならないものがあります。 p.14
6	<u>今後の取組のポイント</u>	p.17

調査の目的

野洲市の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る。

学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

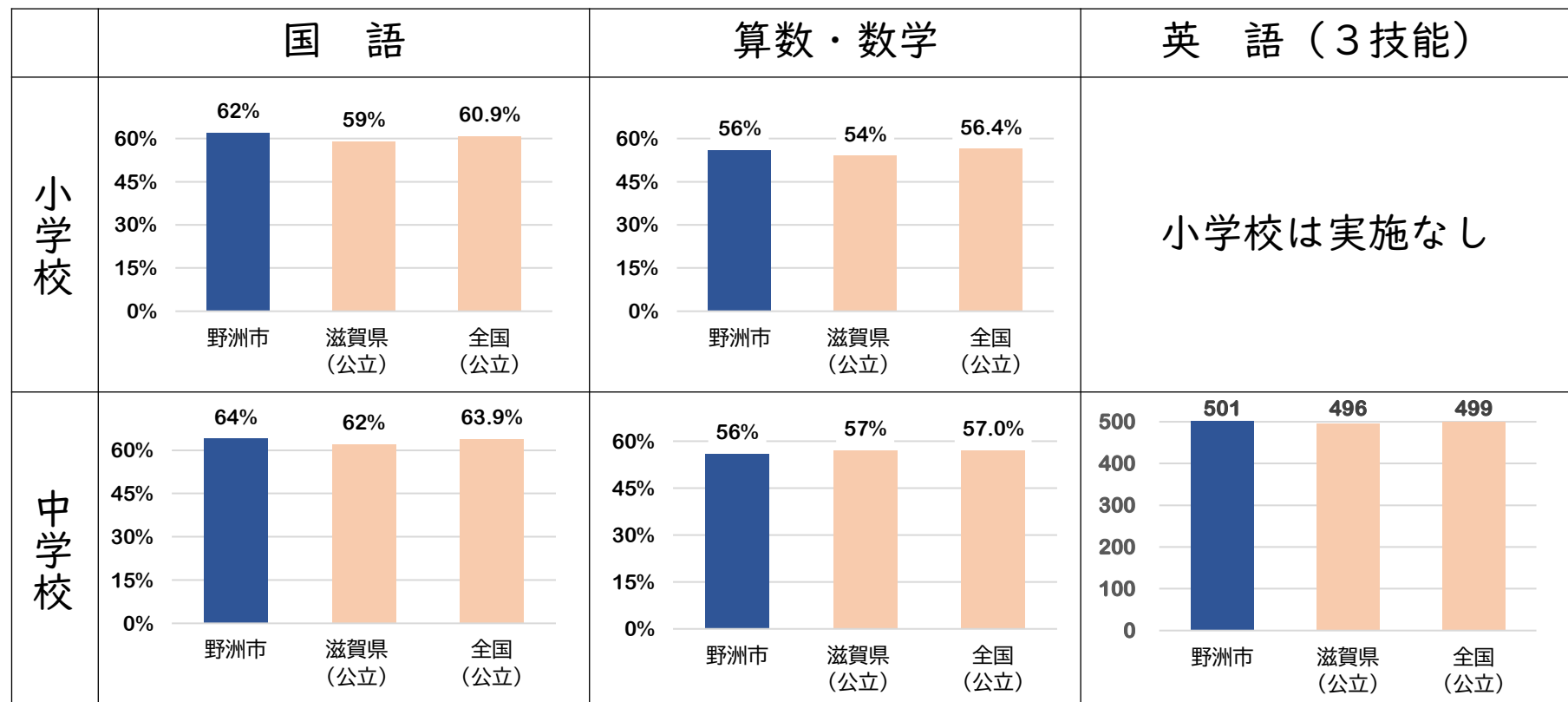
調査概要

調査実施日	令和8年4月20日(月)～5月29日(金) ＊質問調査、中学校理科は学校ごとに実施日が異なる
調査対象	小学校6年生、中学校3年生
調査事項	児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中学）〕 質問調査
調査問題	▶ 学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。 ▶ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信。
今年度の調査の特徴	▶ 中学校・英語（4技能「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」）の全面CBT化 ▶ 児童・生徒質問でのランダム方式の導入

2 教科に関する調査結果の概要

平均正答数 (平均正答率)	国語			算数・数学			英語（中学校のみ） 平均IRTスコア		
	野洲市	滋賀県 (公立)	全国 (公立)	野洲市	滋賀県 (公立)	全国 (公立)			
小学校	8.1 / 13 (62%)	7.7 / 13 (59%)	7.9 / 13 (60.9%)	9.0 / 16 (56%)	8.7 / 16 (54%)	9.0 / 16 (56.4%)	野洲市	滋賀県 (公立)	全国 (公立)
中学校	9.6 / 15 (64%)	9.4 / 15 (62%)	9.6 / 15 (63.9%)	9.0 / 16 (56%)	9.1 / 16 (57%)	9.1 / 16 (57.0%)	501	496	499

*IRTスコアはIRT（項目反応理論）に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。



野洲市小学生の

正答率が高かった問題

＊全国と比較して

暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。

なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

三

花山さんは、【花山さんの文章の一部】を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた

ましよう。

部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の

部ア、イを漢字でいねいに書き

2 三ア	正答率（％）	無解答率（％）
野洲市	86.3（＋6.3）	2.1（－2.0）
全国（公立）	80.0	4.1
2 三イ	正答率（％）	無解答率（％）
野洲市	52.6（＋7.4）	5.5（－1.1）
全国（公立）	45.2	6.6
正答	ア 短（い） イ 不思議	

出題の趣旨	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
-------	---

＊令和7年度調査においても、学年別配当表に示されている感じを文意に沿って、適切に書くことは高い正答率であった。

野洲市小学生の課題が見られた問題

- 4

例えば、日かげを選んで歩くなどのくふうが考えられる。

3

例えば、えり元を開けて着るなどのくふうが考えられる。

2

例えば、そでのないシャツを着るなどのくふうが考えられる。

1

例えば、長そでのシャツをはおるなどのくふうが考えられる。
- 二

花山さんは、「花山さんの文章の一部」の――部①で述べた「くふう」を具体的に説明したいと考え、文を書き加えることにしました。――部①に続く文として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

2二	正答率（％）	無解答率（％）
野洲市	44.4（－4.5）	1.6（－0.5）
全国（公立）	48.9	1.1
正答	1	

出題の趣旨	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる。
-------	---

野洲市小学生の

正答率が高かった問題

＊全国と比較して

(2) この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは14匹^{ひき}います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の20％です。

この動物園全体にはカメが何匹いますか。

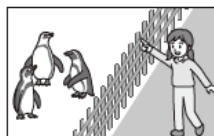
求める式とその答えを書きましょう。

2 (2)	正答率 (%)	無解答率 (%)
野洲市	57.0 (+3.9)	6.2 (−1.0)
全国 (公立)	53.1	7.2
正答	式 (例) 14 ÷ 0.2 答え 70(匹)	
出題の趣旨	百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる。	

野洲市小学生の課題が見られた問題

(3) AとBの2つのペンギンの広場があります。

下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数(羽)	面積(m ²)
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

$$A \quad 10 \div 20 = 0.5$$

$$B \quad 12 \div 30 = 0.4$$

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。

下のアとイ、ウとエの中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は

ア | m²あたりのペンギンの数

イ | 羽あたりの面積

を求めています。

商を比べると

ウ 商が大きいAの広場

エ 商が小さいBの広場

の方がこんでいることがわかります。

2(3)	正答率(%)	無解答率(%)
野洲市	30.4 (-5.7)	2.1 (-0.5)
全国(公立)	36.1	1.6
正答	ア ウ	

出題の趣旨

単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる

野洲市中学生の

正答率が高かった問題

＊全国と比較して

「二人の会話」

西先生、「ら抜き言葉」とは何ですか。「投げられる」と言ったときに、「それは「ら抜き言葉」だね。」と言われました。

「ら抜き言葉」とは、「できる」という可能の意味を含む「出られる」を、「出れる」のようにする言い方のことです。「投げれる」も「投げられる」の「ら抜き言葉」に当たります。

西先生

竹内さん

二 竹内さんは、「二人の会話」の~~~~線部②「投げられる」について考えています。次の1から4までのうち、「投げられる」を説明したものとして最も適切なものを一つ選びなさい。

1 「投げられる」という動詞である。

2 「投げる」という動詞と「られる」という動詞でできている。

3 「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。

4 「投げる」という動詞と「られる」という助動詞でできている。

1 2	正答率 (%)	無解答率 (%)
野洲市	72.6 (+2.4)	0.7 (+0.4)
全国 (公立)	70.2	0.3
正答	4	

出題の趣旨

単語の類別について理解しているかどうかをみる

野洲市中学生の課題が見られた問題

二
林さんは、――線部「ほうふつとさせる」を正確に理解するために、「ほうふつ」を国語辞典で調べました。次の【国語辞典に載っていた意味】を読んで、⑥段落に「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現がいくつかあることに気が付きまし
た。【国語辞典に載っていた意味】を参考にして、それらの表現のうちどれか一つを⑥段落の中から抜き出しなさい。

【国語辞典に載っていた意味】

ほうふつ【彷彿】①はつきりと脳裏に思い浮かぶこと。よく似ていること。②おぼろげなさま。はつきりしないさま。

4 二	正答率（％）	無解答率（％）
野洲市	27.2（－8.0）	27.7（＋7.9）
全国（公立）	35.2	19.8
正答例	（例）ありありと映し出している	
出題の趣旨	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる	

野洲市中学生の

正答率が高かった問題

＊全国と比較して

4

下の表は、 y が x に反比例する関係を表したものです。 に当てはまる数を求めなさい。

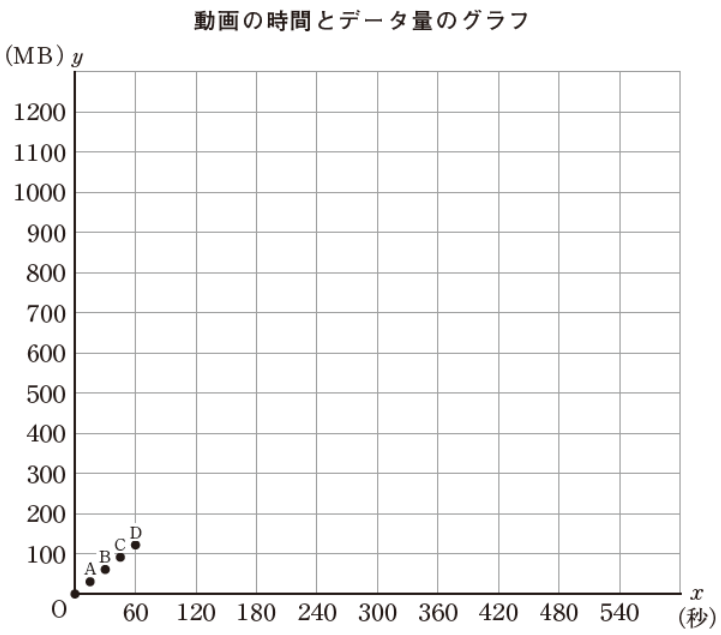
x	...	-3	-2	-1	0	1	2	...
y	...		-6	-12	✕	12	6	...

4	正答率（％）	無解答率（％）
野洲市	60.7(+5.4)	0.4(-0.7)
全国（公立）	55.3	1.1
正答	-4	

出題の趣旨	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができるかどうかをみる
-------	--

野洲市中学生の課題が見られた問題

(2) 光希さんは、1000 MB のデータ量で撮影できる動画の時間を調べるために、前ページの調べた結果を下のグラフに表しました。



動画の時間とデータ量のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、動画の時間を長くしても、動画の時間とデータ量の値の組を座標とする点と同じ直線上にあると考えます。

このとき、データ量が1000 MBになるときの動画の時間はおよそ何秒になるかを求める方法を、 x 座標や y 座標、 x の値や y の値など、 x や y を使って説明しなさい。ただし、実際に時間がおよそ何秒になるかを求める必要はありません。

7 光希さんのクラスでは、クラス紹介の動画を撮影することになりました。撮影する動画のデータ量は1000 MB までにすることになっています。

そこで、動画の時間によってデータ量がどのように変わるかを調べるために、同じ撮り方で時間だけを変えて動画を撮影し、動画の時間とそのデータ量を記録しました。そして、動画の時間が x 秒のときのデータ量を y MB として、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。



7 (2)	正答率 (%)	無解答率 (%)
野洲市	25.3 (－8.6)	55.8 (－16.2)
全国 (公立)	33.9	39.6
正答例	(例) 原点Oから点Dをもとに、直線のグラフをかき、y 座標が1000のときのx 座標を読む。	

出題の趣旨	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる
-------	--

野洲市中学生の

正答率が高かった問題

＊全国と比較して

11

留学生のメイ(Mei)に昨日の出来事について質問し、分かったことを下の【表】にまとめました。【表】を見て、例を参考にしながら、①メイが行った場所、②メイがしたことを、それぞれ英文 1 文で書きなさい。

【表】

例	メイが起きた時刻	7 時(seven)
①	メイが行った場所	公園(the park)
②	メイがしたこと	テニス(tennis)

<解答欄> ※半角で入力してください

例

Mei got up at seven.

①

②

11①	正答率 (%)	無解答率 (%)
野洲市	67.2 (+8.3)	3.5 (-0.5)
全国 (公立)	58.9	3.0
正答	(例) Mei went to ths park.	

出題の趣旨	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる
-------	---

野洲市中学生の課題が見られた問題

4

<問題文>

しおりが、先週、いちご農園で体験したことについて英語で発表します。しおりの発表を聞いたあと、ア、イ、ウの3枚の絵が示されます。しおりが体験した順に、①②③の中に入る絵を、1つずつ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。

再生ボタンを押してください

【しおりの発表】※①、②、③の絵は、聞いたあとに示されます。

流れた音声の台本

I had work experience at a strawberry farm last week. In the morning, I made strawberry jam. I put strawberries and sugar into a pot, and cooked them. After lunch, I picked strawberries. I checked their sizes and colors. I put them into the box. Finally, I cleaned around the farm. I saw old strawberry leaves on the ground, so I collected them. The work was hard, but I had a great experience.

ア

イ

ウ

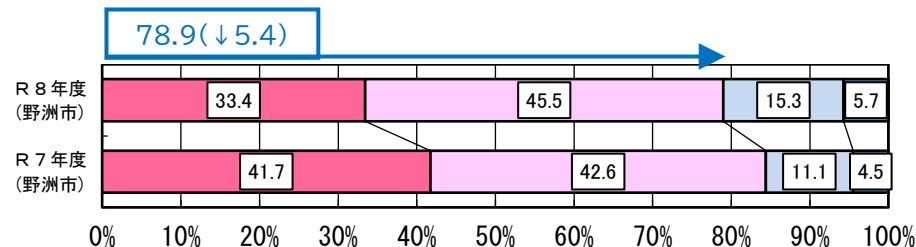
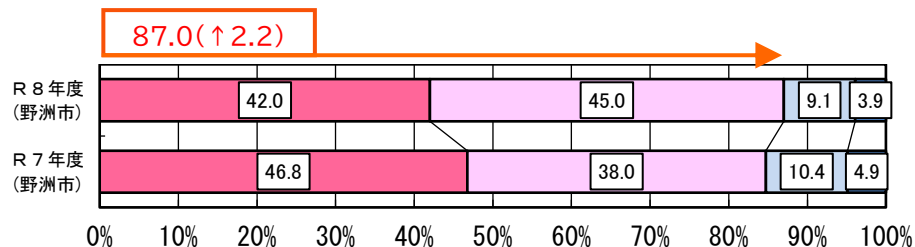
4	正答率 (%)	無解答率 (%)
野洲市	38.0 (-5.8)	0.5 (-3.5)
全国 (公立)	43.8	4.0
正答例	ウ → ア → イ	
出題の趣旨	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる。	

小学校

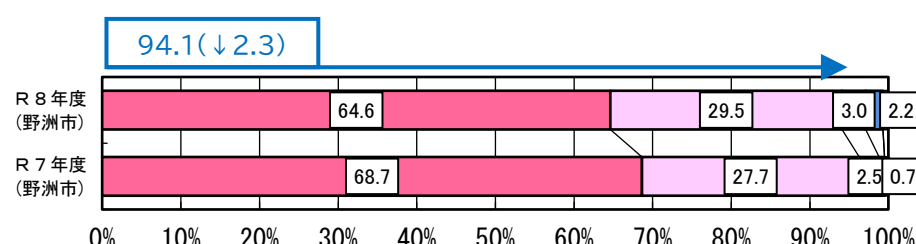
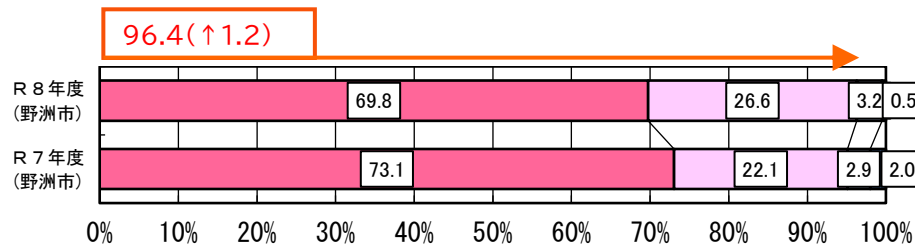
中学校

■ 当てはまる
 ■ どちらかと言えば、当てはまる
 ■ どちらかと言えば、当てはまらない
 ■ 当てはまらない

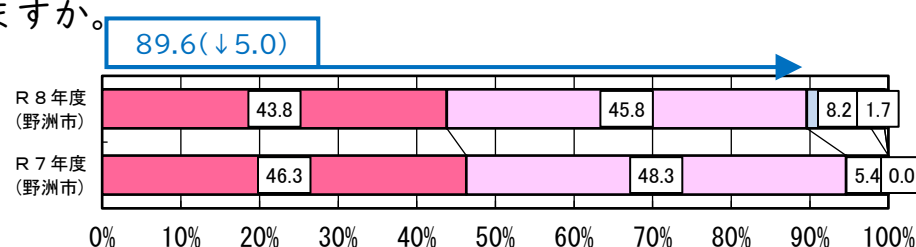
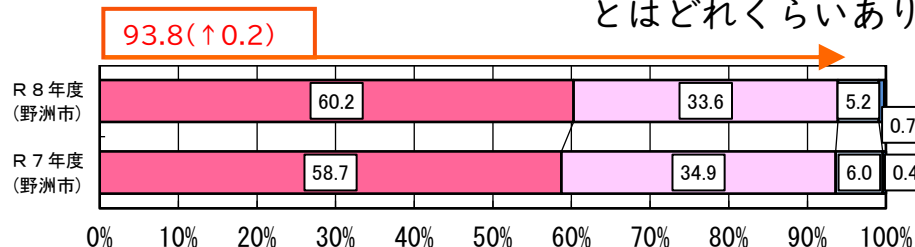
①自分にはよいところがあると思いますか。



②人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



③普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



調査結果より

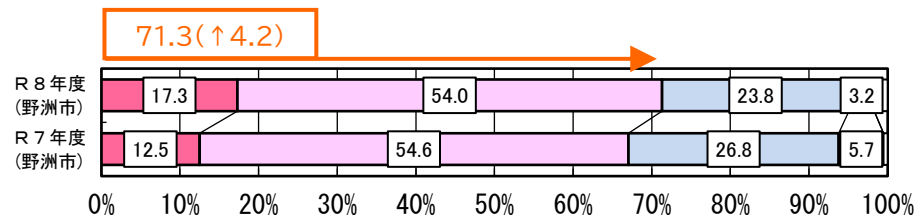
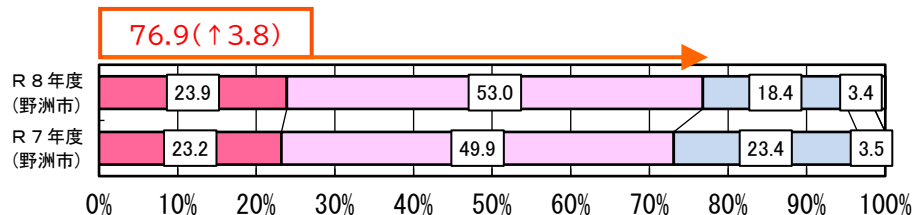
非認知能力に関わる①～③の質問項目では、小学校で肯定的な回答をしている児童の割合が昨年度と比べ微増傾向にある。中学校においては減少傾向にある。しかしながら、②③の質問についてはおおむね90%の児童生徒が肯定的な回答を示しており、高い水準である。

小学校

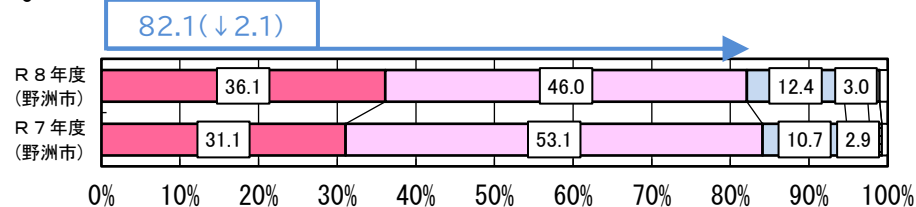
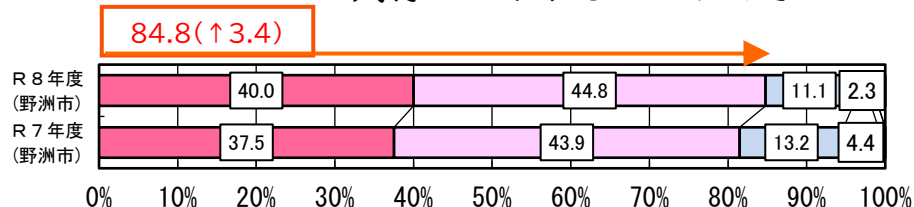
中学校

■ 当てはまる
 ■ どちらかと言えば、当てはまる
 ■ どちらかと言えば、当てはまらない
 ■ 当てはまらない

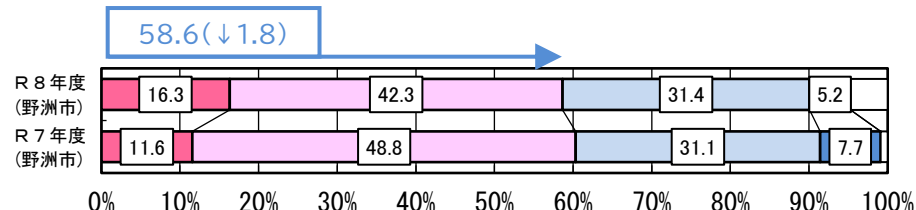
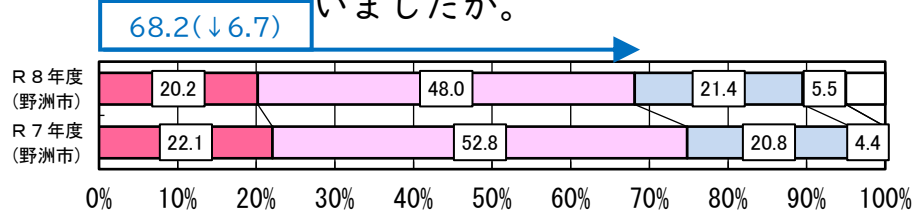
④授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



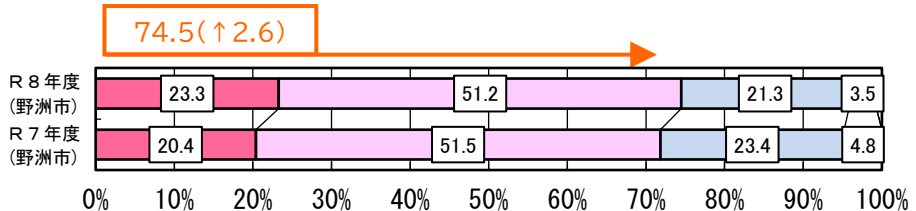
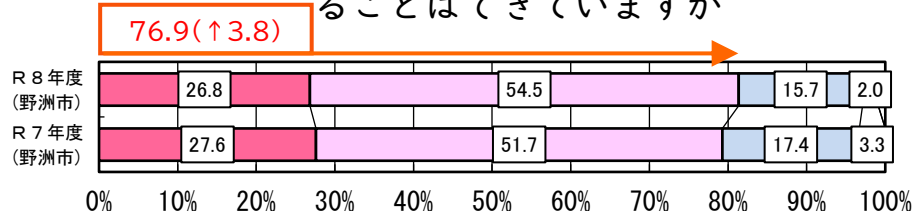
⑤学級の生徒との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



⑥各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。



⑦分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

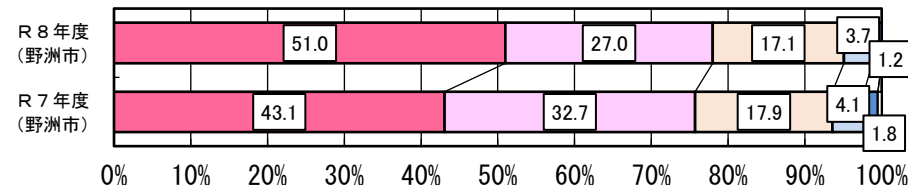
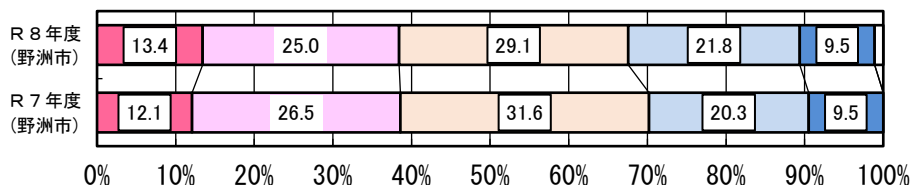


小学校

中学校

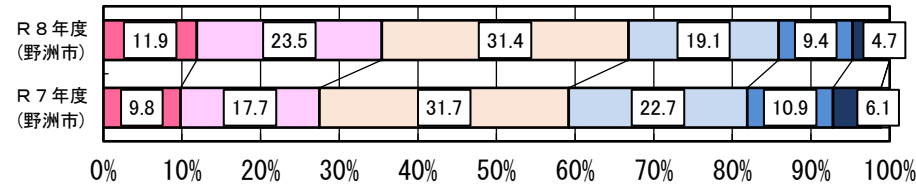
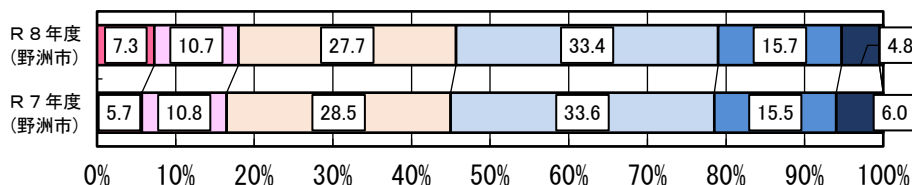
⑧これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

■ ほぼ毎日
 ■ 週3回以上
 ■ 週1回以上
 ■ 月1回以上
 ■ 月1回未満



⑨学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

■ 3時間以上
 ■ 2時間以上、3時間より少ない
 ■ 1時間以上、2時間より少ない
 ■ 30分以上、1時間より少ない
 ■ 30分より少ない
 ■ 全くしない



調査結果より

▶主体的な学びに関する質問④と学習の調整に関する質問⑦で、小・中学校ともに肯定的な回答の割合が増加している。また、対話的な学びに関する質問⑤では、小中学校ともに80%を超える児童生徒が肯定的な回答をしている。これらの結果から、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業改善が図られている**ことがうかがえる。

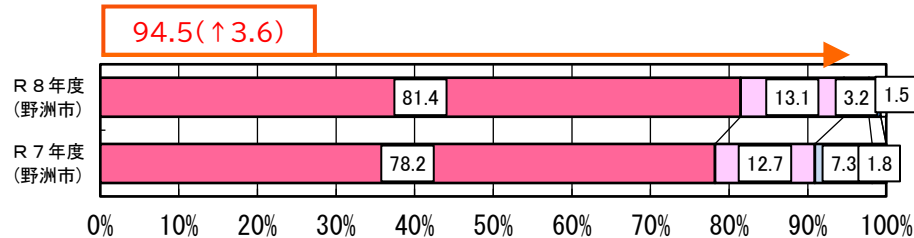
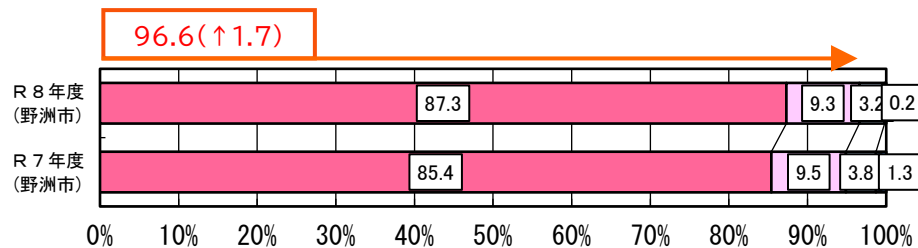
▶自分の考えをまとめる活動に関する質問⑥は、小中学校ともに肯定的な回答の割合が減少している。項目で「当てはまる」の割合が昨年度と比べて増加している。学習内容の理解を深めるために、**自分の考えをまとめ表現する活動をさらに充実させたい。**

している
 どちらかと言えば、している
 あまりしていない
 全くしていない

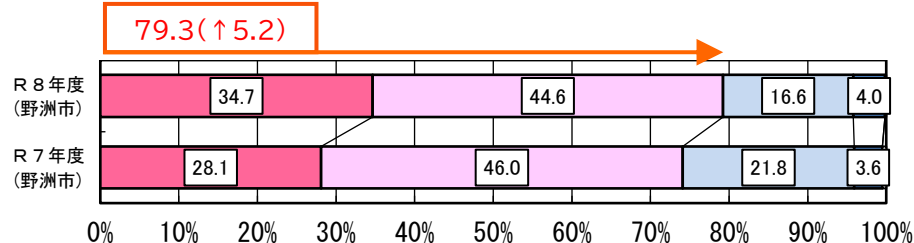
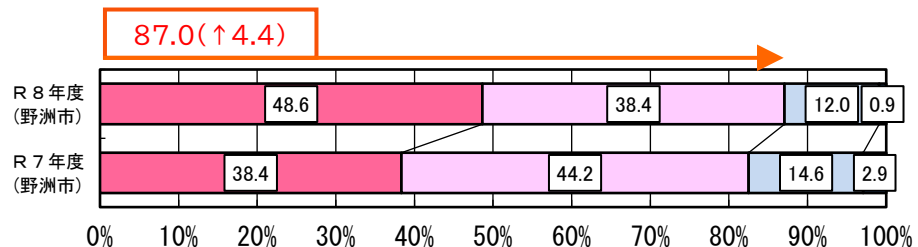
小学校

中学校

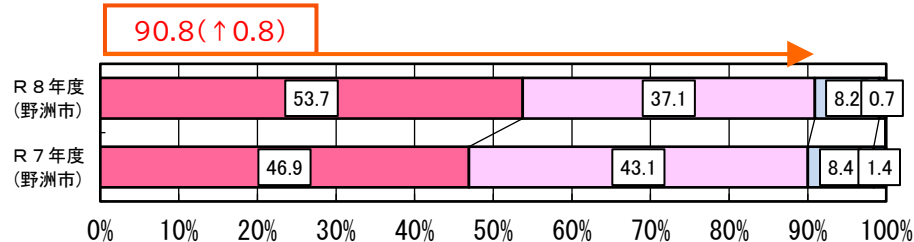
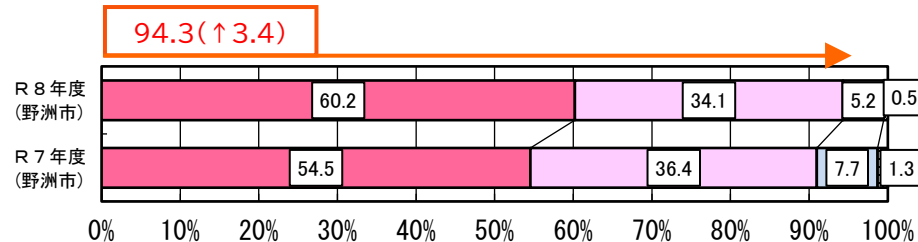
⑩朝食を毎日食べている。



⑪毎日、同じくらいの時刻に寝ている



⑫毎日、同じくらいの時刻に起きている



調査結果より

▷生活習慣に関する質問調査では、朝食の摂取、就寝、起床時刻のいずれにおいても、小中学校で肯定的な回答の割合が増加傾向にある。特に、**直食摂取と起床時刻においては、肯定的な回答の割合が90%を超えており、規則正しい生活習慣であることがうかがえる。**



授業改善のポイント



1. 目的意識をもって取り組める学習課題の設定の工夫

- ▷ 児童生徒がめあてや目的を理解して、進んで取り組もうと思える学習課題を設定する。
- ▷ 学習のゴールや活用場面を明確に示し、学ぶ意味を実感できるようにする。

2. 根拠を基に自分の考えや意見を表現する活動の充実

- ▷ 「読み解く力」の視点を踏まえた授業改善を進める。
- ▷ 必要な情報を発見・蓄積、分析・整理する学習活動を設定する。
- ▷ 学習課題に対して、自分なりの考えや意見を根拠を基に表現する活動を設定する。



「読み解く力」イメージ図

滋賀県教育委員会

「第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プラン」より